



2011年3月27日宮城県女川町にて

希望を示すのが政治

～復興特区と復興基金を提案～

被災現場の声を聞き、届ける

三月二十七日に宮城県女川町にお伺いしました。海に近い低地は全て津波に流されてしまった被害甚大な町。女川町長から「市町村は避難所の切り盛りで精一杯。復興計画は現場の話を聞いてもらって、国が選択肢の形で作り、市町村が選ぶ形にしてほしい。」「お金は、ある程度現場の判断で自由に使える形だとありがたい。」といった話を伺いました。この町長の声を踏まえ、四月十二日の総務委員会における震災対応についての質疑において、私から「基金の設置など大胆なお金のやりくりができるようお願いしたい」など、町長の声を総務副大臣に申し上げました。

「復興特区」と「復興基金」で現場主導の復興を

四月二二日の内閣委員会では、『復興特区』を作り、現場で規制の特例が必要な場合は迅速に対応できる仕組みを作るべきではないか、「ある程度自由に使える『復興基金』を自治体に渡す形で作るべきではないか」と質問したのに対し、片山総務大臣から、「復興特区で一括して規制を整理できないか、具体化する段階でご意見申し上げたい。」「そういう自由度の高い財源が求められると思う。基金というのも一つの有力な手法」と答弁されました。

希望を具体的に示すのが政治

この内閣委員会の質問において、「仮設住宅を建てるための平地はある。それは農地。農地に仮設住宅を建てられるような規制対応はすでに農水省にして頂いた。農家は当面は仮設住宅に貸している賃貸料を頂くのかもしれませんが、農業をやりたいんだという希望がやはり大事。津波で流された海沿いの土地を大規模な田んぼにするとか、

被災した方々がある程度イメージできるビジョンを早く作り、必要となる法律、制度、予算を二次補正予算、復興特区などで示すべき。」と訴えました。

赤字企業には社会保険料の減免を

同委員会の質問ではさらに、復興地域で再生努力する企業の法人税を免除しようと検討していることに対し、「会社は最初は赤字なんです、法人税なんか払っていないんです。税よりも社会保険料を免除するというのが被災地の赤字企業にとって重要になるので検討すべき」と訴えました。この話は以前から党内で主張してきたところですが、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」において実現し、被災者・事業主に対する社会保険料は免除となりました。震災復興に限らず平時においても、これまでの中小企業政策は、お金を借りやすくすることと減税が中心ですが、社会保険料の減免を選択肢とすることは、私は昨年来主張してきており、今後とも取り組んでまいります。

この夏の相模線は大丈夫です

計画停電が行われた三月、二七日までの長い間JR相模線が不通となり大変困りました。この原因は、踏切の電源が各地区の東京電力の配電網から取られており、どこかで停電地域があると不通になってしまいうからでした。私からJR東日本に対し、線路沿いの別の電線ルートから各踏切に電源供給できるように申し入れておりましたが、四月二五日の民主党電力需給問題プロジェクトチームの場において、JR東日本の副社長からこの工事を行う旨の回答がありました。仮にこの夏、計画停電になっても相模線は不通とはなりません。

2011年統一地方選挙結果報告

県議選

相模原市南区 (定数 3)	得票数
細谷 政幸 (自民)	当 33,356
山下 昌一朗 (民主)	当 17,415
小林 大介 (みんな)	当 17,395
長谷川久美子 (無所属)	13,588
中村 武人 (民主)	11,887
河野 幸司 (共産)	9,684

厚木市 (定数 3)	得票数
堀江 則之 (自民)	当 20,375
山口 貴裕 (無所属)	当 11,600
佐藤 知一 (民主)	当 9,373
井上 武 (みんな)	8,963
山本 とも子 (ネット)	6,465
鈴木 裕二 (民主)	5,204

市議選 (民主党公認候補のみ)

相模原市議選 (南区 定数 19)	得票数
鈴木 秀成	5,233 (当 3位)
中村 知成	4,257 (当 8位)
桜井 はるな	3,663 (当 15位)
石川 達	2,356 (24位)
篠崎 健太	2,142 (26位)

伊勢原市議選 (定数 21)	得票数
安藤 玄一	1,687 (当 6位)
小山 博正	1,604 (当 7位)

〈これから行われる選挙〉

厚木市議会議員選挙 (7月) 愛川町議選挙 (10月)

統一地方選挙は、全国ベースでは都会を中心に民主党にとって厳しい結果となりました。神奈川県では、知事選は黒岩祐治候補、相模原市長選では加山俊夫候補を民主党として推薦し、ともに当選いたしました。県全体としては厳しい結果となりました。

厚木市では、県議選(三人区)に鈴木裕二(現職)と佐藤知一候補の二名を擁立いたしました。佐藤氏が三位当選したものの、鈴木氏は残念ながら落選いたしました。民主党の得票数としては、前回の一三四一八票(鈴木氏のみ)から一四五七七票と若干の増加となりましたが、候補者が二人であることを考慮すると厳しい結果と言えらると思えます。

相模原市の県議選では、三人区に二名擁立した南区で十四区側から出馬した山下昌一朗候補が二位当選したものの、十六区側から出馬した中村武人氏は落選いたしました。なお、二人区の相模原市緑区では長友よしひろ(現職)が当選、三人区で二人擁立した中央区では寺崎雄介(現職)が当選、小林のりとし候補は落選しました。市議選の緑区では四名中二名が当選、中央区では六名中四名が当選、南区では五名中三名が当選しました。相模原市合計では県議は三名から三名と変わらず、市議は七名から九名へと増えました。

伊勢原市では、現職の小山博正市議が二期目の当選を飾り、新人の安藤玄一候補が初当選。民主党の得票数としては、前回の二七七六票(小山市議のみ)から三二九一票へと増加しました。

十六区全体としては、県議一名から変更なく、市議は相模原と伊勢原を合わせると一名から三名へと増えており決して敗北ではないとも言えますが、現職の鈴木県議と相模原南区の中村武人氏の落選は、現下の民主党に対する厳しい評価の結果とも言えます。有権者の審判を率直に受け止め、今後の活動で少しでも信頼を取り戻してまいります。

義援金にご協力頂き、ありがとうございます。

東日本大震災被災地支援のため義援金募金活動を行っております。民主党神奈川県第16区総支部では、これまでに135,313円(4/26時点)の義援金を皆様よりお預かりし、民主党本部を通じて日本赤十字社へ届けました。義援金の受付は引き続き行っておりますので、ご協力頂ける方は、下記口座までお振込をお願い致します。

振込口座は下記の通りです。(振込手数料は、振込人払いとなります。)

(お預かりした義援金は民主党への寄付ではありません。民主党が募金者の皆さまからお預かりし全額支援活動団体にお届けします。)

郵便振替の場合 「民主党募金口座」(記号)00110-6(番号)65328

銀行振込の場合 (りそな銀行衆議院支店・普通預金)

「民主党募金口座」(店番)328(口座番号)7815354